

環境に配慮した森林づくりの推進

(1) 森林の多面的機能を発揮させる森林管理の推進

- 多面的機能を十全に発揮させる森林整備

(2) 人工林の特性に配慮した森林整備の推進

- 木材資源の循環利用をめざす森林の地域の実情に応じた整備
- 環境重視の管理を行う森林の針広混交林への誘導

(3) 天然林の保全管理の推進

- 里山林の新たな森林整備の仕組みづくり
- 奥山林の自然生態系の保全を主体とした管理

区分	平成20年度	平成26年度	平成32年度
民有林に占める保安林面積の割合	34%	36%	38%
治山事業による保安施設整備割合	57%	61%	65%
除間伐を必要とする人工林に対する整備割合	65%	80%	90%

5年間の主な取り組み

県民の協働による森林づくりの推進

(1) 県民の主体的な参画の促進

- 県民参加の森林づくり情報の提供と上下連携の森林づくりの推進
- 流域単位での森林づくりへの県民参画の組織づくりおよび活動支援

(2) 里山の整備・利活用の推進

- 里山整備保全活動の仕組みづくりと活動への支援

(3) びわ湖水源のもりの日 びわ湖水源のもりづくり月間の取り組み

- 様々なメディアを使った普及啓発

区分	平成20年度	平成26年度	平成32年度
森林づくり活動を実践している市民団体等の数(累計)	99団体	125団体	150団体
里山整備協定林の数(累計)	9ヶ所	25ヶ所	40ヶ所
びわ湖水源のもりづくり月間の森林づくりへの参加者数	6,742人	8,000人	13,000人

5年間の主な取り組み

森林資源の循環利用の促進

(1) 県産材利用の促進

- 住宅建築や公共施設などへの県産材の利用拡大のための仕組みづくりと地産地消の推進

(2) 森林資源の有効な利用の促進

- 森林資源の環境に配慮した新しい利用や有効な活用のための調査研究・技術開発への支援

区分	平成20年度	平成26年度	平成32年度
県産材の素材生産量	32,000m ³	59,000m ³	120,000m ³

5年間の主な取り組み

次代の森林を支える人づくりの推進

(1) 森林所有者等の意欲の高揚

- 森林所有者・林業従事者が生き生きと森林づくりに取り組めるよう森林整備情報の提供や技術指導

(2) 森林組合の活性化

- 森林経営の中核的な担い手となる組織体制の充実と人材の育成

(3) 森林環境学習の推進

- 森林の多面的機能への理解と関心を深め、森林づくりへの参加意識を高揚

区分	平成20年度	平成26年度	平成32年度
地域の森林づくりを推進する集落数	56集落	87集落	100集落
森林組合の低コスト施業実施面積	78ha	660ha	1,400ha

5年間の主な取り組み

急がれる県産材の安定供給体制の整備と地球温暖化防止森林吸収源対策による森林の保全整備の推進

戦略1 環境に配慮した森林づくり推進プロジェクト

森林吸収源の確保と多様で健全な森林づくりに取り組みます。

地球温暖化防止に向けた森林吸収源対策の推進

- 手入れ不足人工林の、総合的で計画的な間伐の実施
- 地域の特性に応じた間伐や再造林などの取り組み
- 間伐材等の搬出を積極的に進めるため、作業の効率化、低コスト化の推進
- 木材の循環利用を図るため、間伐材等の利用拡大の推進

森林の生態系や環境に配慮した整備の推進

- 針広混交林(環境林)や長伐期林へ誘導および効果的な森林の保全・整備の実施
- 多面的な利活用と保全が図れる里山の整備の推進
- 関係機関と連携した二ホンシカ等の被害対策および花粉が少ないスギ苗木生産の推進
- 森林と琵琶湖との関わりなどについての研究・解析の推進

5年間の取り組み目標

区分	平成20年度(実績)	平成26年度(目標)
年間間伐実施面積	2,525ha	3,100ha
環境林面積(累計)	422ha	1,600ha
年間作業道等開設延長	25,115m	36,200m

戦略2 県民の協働による森林づくり推進プロジェクト

多様な主体による森林づくり活動を進めます。

県民が森林づくり活動を行う体制の整備

- 新たな参画を促進するため、森林ボランティア団体等地域の様々なグループの活動や、流域森林づくり委員会活動への支援
- 森林ボランティア団体等の活動の情報発信および団体間の情報交換を行う仕組みづくりへの支援
- 森林所有者と森林ボランティア団体等との連携および緑の募金などを活用した森林づくり活動の促進
- びわ湖水源のもりの日・びわ湖水源のもりづくり月間を中心とした森林の大切さの普及啓発

多様な主体や新たな仕組みによる森林づくりの推進

- 多様な主体による森林づくりの取り組みを促進するための環境整備
- 本県の特性を生かした低炭素社会の実現を図るため、森林の新たな価値を生み出す仕組みの検討
- 森林の重要性を、琵琶湖淀川流域圏まで理解を広げていく取り組みの推進

5年間の取り組み目標

区分	平成20年度(実績)	平成26年度(目標)
森林づくり活動市民団体年間延べ活動日数	482日	750日
琵琶湖森林づくりパートナー協定(企業の森)締結数(累計)	3協定	15協定

戦略3 森林資源の循環利用促進プロジェクト

県産材の利用促進を図り、低炭素社会の実現に向けた取り組みを促進します。

県産材の利用促進

- 施業の集約化、路網の整備、高性能林業機械の導入、人材の育成による県産材の生産体制の整備
- 県産材の円滑な流通を図るための流通拠点の整備
- 「びわ湖材」の利用特性に関する研究および「びわ湖材」産地証明制度の普及・定着
- 県産材を活用した家づくり、公共施設等の木造・木質化および学習機の導入等の推進

森林資源の新たな利用の推進

- 林地残材、未利用材、低品質材の有効活用による木質バイオマス利用の推進
- 森林空間が持つ癒し安らぎの機能をはじめ、森林資源の新たな用途開発や実用化に向けた取り組みの推進

5年間の取り組み目標

区分	平成20年度(実績)	平成26年度(目標)
びわ湖材認証を行った年間木材量	9,595m ³	18,000m ³
高性能林業機械導入数(累計)	6台	18台

戦略4 次代の森林を支える人づくり推進プロジェクト

森林を守り育てる人材の育成と確保に取り組みます。

森林を育む担い手づくり

- 施業プランナーや高性能林業機械オペレーターの養成
- 森林組合合併や組合加入率の向上および木材生産流通を中心とした事業展開による経営安定化への取り組みの推進

意欲ある林家・グループの育成

- 森林経営に取り組む森林所有者を育成するため、地域全体での協働施業を推進
- 森林所有者等に森林整備に関する情報の提供や技術指導の実施

森林環境教育の充実

- 森林環境学習「やまのこ」事業の着実な実施を図るため、学習プログラム等のより一層の充実
- 様々な世代にわたる森林環境学習を推進するため、既存施設や公有林などの活用の推進

5年間の取り組み目標

区分	平成20年度(実績)	平成26年度(目標)
森林環境学習の年間受講者数	12,928人	20,000人
森林組合の木材生産に専門的に従事する作業員数	0人	50人